

委員派遣実績報告書

令和4年11月16日

米子市議会議長 様

都市経済委員会

委員長 岩崎 康朗



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する先進地事例について調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

委員会名	都市経済委員会
期 日	令和4年11月8日から令和4年11月10日まで
視 察 先 及 び 視 察 内 容	11月8日(火) 宮城県石巻市 ・かわまち交流拠点整備事業 11月9日(水) 福島県いわき市 ・21世紀の森公園 スケートボード広場
参加者名	【委員長】岩崎康朗 【副委員長】大下哲治 【委員】門脇一男、国頭靖、戸田隆次、中田利幸、西野太一、 又野史朗、矢田貝香織 【随行】議会事務局 議事調査担当事務局長補佐 森井聖太
経 費	710,000円
委 員 会 所 感	別紙のとおり

別 紙

宮城県石巻市（11月8日）

面積：554.55km²

人口：137,184人

○ かわまち交流拠点整備事業

（1）視察の目的

現在、本市において中海エリアで「中海・錦海かわまちづくり計画」を推進中である。今後、その計画に係る計画概要の具現化が図られるところであり、同事業の先進地である石巻市「かわまち交流拠点整備事業」を視察研修し、その研修内容を本市の「中海・錦海かわまちづくり計画」に反映・議論するため。

（2）視察要旨

石巻市かわまち交流センターかわべいのフリースペースにおいて、担当者より「かわまち交流拠点整備事業」の概要などの説明を受け、質疑応答を行った。座学終了後、隣接した堤防一体空間に移動し、空間整備の概要などの説明を受けた。

① かわまち立体駐車場

- ・施設概要：鉄骨造3層4段、普通車219台・大型バス5台収容
- ・事業費：8億7,642万円（復興交付金約7億113万円、震災特交約1億7,528万円）
- ・延床面積：約5,425m²
- ・運営手法：指定管理者
- ・発注手法：設計施工一括

② かわまち交流センター

- ・施設概要：（1階）インフォメーション、交流ホール、ミーティングスペース（2階）キッチンスペース、ミーティングスペース、サロンスペース
- ・事業費：約5億5,951万円（復興交付金約3億2,721万円、震災復興基金約9,206万円、震災特交約1億4,023万円）

- ・延床面積：約 7 4 7 m²
- ・敷地面積：約 7 2 2 m²
- ・運営手法：指定管理者

③ かわまち交通広場

- ・施設概要：路線バス及びタクシーの乗降場
- ・敷地面積：約 1, 4 5 8 m²
- ・事業費：約 6, 2 7 5 万円（復興交付金約 4, 8 6 3 万円、震災特交 1, 4 1 2 万円）
- ・運営手法：指定管理者

④ かわまち交流広場

- ・施設概要：広場、イベントステージ、噴水
- ・敷地面積：約 1, 8 9 7 m²
- ・事業費：約 1 億 7, 3 8 2 万円（復興交付金）
- ・運営手法：指定管理者を見込む

⑤ まんがロード～かわまち交流センター間の人流及び街並み状況について及び堤防の在り方（空間スペース）について現地視察

(3) 主な質問応答内容

Q 1 ・広範にわたる甚大な被害に対する復興に向けた事業計画・交付金の取り扱いについて

A 1 ・国による震災交付金・復興特公等の支援・補助があり、それらの活用により各事業の進捗が図れた。

Q 2 ・土地区画整理事業の推進に当たり苦勞されたことは、どのような内容か。

A 2 ・国の復興計画に基づいて事業を推進してきたが、川周辺に居住している方々は、同場所への愛着が強く移転していただくことに大変苦勞した。住民の理解を得ることが必要不可欠であり事業関係者の協議会を設置し対応した。

Q 3 ・市民の暮らしと、観光客の交流拠点とイベント開催などについて

A 3 ・かわまち交流拠点地域には、年間 1 3 0 万人の方々を訪れる。市としては、駅～商店街～まんがロード～かわまちの人流・回遊

を想定していたが、商店街への人流は減少の一途である。その対策を急務としイベント開催等対策について多角的に検討中である。

Q 4・震災後の堤防整備区域・かわまち交流拠点整備事業の区域について

A 4・堤防区域については、従前は堤防がなく住宅地の敷地面高さと水面が同レベルであるので防災・減災の観点から堤防の築堤を図り、都市構造において必要不可欠な部分を改修した。かわまち交流事業については、適地選定し同場所に整備した。

堤防関係については現地で説明を受け、堤防高約 8 m、堤防幅約 7 m、堤防勾配 40%弱、イベントができるように電気・ガス・下水道各整備済みとのこと。

Q 5・施設の運営主体について

A 5・運営主体については、指定管理者

Q 6・川辺である特徴をどのように生かしているか。

A 6・かわとまちをつなぐ新たな空間を創出し、市民・観光者に対し集いと癒しの空間を提供している。

Q 7・周辺地域に対する投資効果はどうか。

A 7・投資効果については、本交流センター周辺に年間約 13.0 万人の方々が来訪される。当初、駅～商店街～まんがロード～かわまち交流センターの人流・回遊を想定していたが、本交流センターが隆盛し、商店街等の相乗効果はない状況下である。今後、投資効果の拡大・相乗効果の創出に向け、検討しているところである。

(4) 視察(説明)要旨に対する委員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

このたび、石巻市の「かわまち交流拠点整備事業」について視察した。石巻市は、東日本大震災後飛躍的に復興されており、その基本的概念は「かわまち交流拠点事業」を核に市民や観光客が集える憩いの場を提供し、にぎわいの創出・地域の活性化を図ろうとしている。同市においては観光客が年に約 130 万人訪れている一方、周辺の商店街等の衰退は著しく、その対策は急務であるとのことであった。

本市においても、かわまちづくり事業については、事業推進が図られているが、パース図によると市民・観光客が集える憩いの場のスペースが少なく、石巻市のような様態は見込めないと思料する。また、米子駅～彫刻

ロード～米子城跡～湊山公園～かわまちの人流・回遊性について十分に検討する必要がある。本市においてはウォークブルが推奨されているが、市民の理解度は薄いと感じる。

石巻市のかわまち交流拠点整備事業については、東日本大震災復興のまちづくりの一環として取り組まれたと拝察する。本市においては、漁港跡地利用計画としてかわまちづくりを推進するが、現計画においては人が集まる仕掛けが乏しく、コンセプトがない。

石巻市の事業の財源については復興交付金等を活用しており、ほぼ99%が国費で賄われているが、本市では国土交通省の補助金を活用するため、補助率は低く、一般財源の充当率は高い。また、本事業に隣接する県有地については、準工業地に変更されたところであり、民間の進出しやすい環境の醸成が急務であり、県との調整が求められる。本市のかわまち事業の推進については理解できるが、財源・民間の参入促進・人流回遊促進に係る方策等について十分に検討する必要がある。

このたびの視察研修において習得した内容を基に、米子市議会12月定例議会で活発的に議論したい。

福島県いわき市（11月9日）

面積：1,232.26km²

人口：325,425人

○ 21世紀の森公園 スケートボード広場

（1）視察の目的

東京オリンピックから正式種目として採用されたスケートボードは、東京オリンピックにて日本人選手の活躍などもあり、多くの子どもたちが興味を示し、全国の自治体が公共施設としてのスケートボードパーク整備を進めている。

本市には、平成15年にオープンした弓ヶ浜公園スケートパークがあるが、オープンから20年近く経過し、狭いパーク内に初級者では遊べないセクションばかりで、これからスケートボードを始めたいと思っている子どもたちが入ることができない。さらに、スケートボードは音がして迷惑

をかけるので、町なかではできない。

オリンピック種目になり、スポーツとして認められ、これから始める子どもたちのために、初心者や子どもからシニア世代まで安心して遊べるスケートボードパーク整備が本市でも求められている。

そこで、広大な敷地に初級者から上級者まで楽しめるセクションを多く備え、令和2年5月に完成した「21世紀の森公園スケートボード広場」の行政視察をした。

(2) 視察要旨

21世紀の森公園、いわきグリーンスタジアム（野球場）内の公園管理事務所にて、担当者より「21世紀の森公園スケートボード広場整備事業」について、座学にて概要や経過などの説明を受け、質疑時間をいただいた。座学終了後はスケートボード広場に移動し、広大で多様なセクションがあるスケートボード広場を見学させていただいた。

① 概要

事業は、いわき市におけるスポーツレクリエーション環境の一層の充実及び子どもの運動機会の増大による肥満の解消等を図るもの。

② 経過

平成28年4月、「いわき市公営スケートパーク設置を求める要望書」が提出される。

平成28年8月、東京オリンピック正式種目に決定され、市内都市公園内への整備について検討を行った。

平成30年4月、いわきスケートボード協会設立（協会員に、県議会議員、市議会議員、市の職員も加わり、官民一体となり機運を高める。）

平成30年10月、スケートボード広場整備の基本方針を策定

方針1 市民だれもが利用しやすい施設（本市弓ヶ浜公園は初心者に向いてない。）

方針2 交流人口の拡大に繋がる施設（利用者登録者の半数以上が市外）

方針3 21世紀の森公園の特性と景観に配慮した施設

方針4 他の施設利用者への安全等に配慮した施設

平成30年12月、いわきスケートボード協会等からの最終的な要望を踏まえた基本設計案を作成

令和元年10月、21世紀の森公園スケートボード広場整備工事着工

令和2年5月、完成披露式

工事請負金額80,809,300円（財源：東日本大震災遺児等支援事業基金）

（3）主な質疑応答

Q1・施設は無料で使用できるようだが、市外の方々も無料で使用できるか。

A1・市外の方々も無料で使用できる。市外の方々がスケートボード広場を利用していただき、いわき市の商業施設などを利用いただければ交流人口の拡大につながる。

Q2・利用者は必ず登録申込書を記入しているか。

A2・登録申込書は、記入していただくことが前提だが強制ではない。主に注意事項を読んでいただくことと、利用者の把握のために記入していただいている。

Q3・けが、緊急時の対応はどのようにされているか。

A3・けがを伴うスポーツなので、毎月1回くらい救急車が来ている。対応としては救急車がスケートボード広場の近くまで入れるようにしている。利用登録申込書に記載しているので、けがについてのクレームは一切ない。

Q4・スケートボード広場のデザイン、セクション配置等はどうに行なったのか。

A4・デザイン、セクション配置等は、いわきスケートボード協会や、つくば市の有限会社マサケン（スケートボードパークビルダー）に依頼した。

Q5・BMXとインラインスケートも利用できるようになり、混在してトラブルはなかったか。

A5・そもそも全国的にも混在して当たり前前のスポーツだったのでトラブルはない。

（4）視察（説明）要旨に対する委員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

本市も、いわき市も、スケートボードがオリンピック正式種目になって、スケートボードがスポーツになり、興味を持つ市民が増えてきたということが一つの分岐点になっている。

スケートボードは、音が響くスポーツであることから、まちの至る所でされると不快に思う市民もいて、すみ分けが難しかったが、21世紀の森公園スケートボード広場ができてからは、すみ分けができるようになったということから、本市においても、まちの至る所においてスケートボードで遊ばせないためにも、現状の弓ヶ浜公園スケートボードパークより広く、初級者から上級者まで遊べるセクションを設け、一般市民とスケートボード愛好家の両者がすごしやすい環境を整備していかなければいけない。

本市にもスケートボード協会はあるようだが、いわき市のスケートボード協会設立時に、県議会議員、市議会議員、市の職員も加わり一体となって機運を高めていった事例は、本市のスケートボード協会の在り方について参考になった。

広大で豊富なセクション、公園の植木等を残すことで景観になじんだ個性的なパークということで、利用登録者の半分以上は市外から来られていて、利用料金は無料だが、いわき市の商業施設を利用していただけることで交流人口の増加につながるという考え方を踏まえ、今後の本市の公園整備事業では、市民の要望はもちろん、市外からも多く来ていただける魅力のある公園整備をしていかなければならない。

いわき市は、スポーツレクリエーション環境の一層の充実及び子どもの運動機会の増大による肥満の解消等を図るためにもスケートボード広場を作った。

本市の子どもたちも、コロナ禍でますます運動不足になりがちになってしまったが、オリンピック正式種目になったスケートボードに興味を示しているのに遊ぶ環境が整っていないことは、せっかくの子どもたちの運動機会を奪ってしまう。こども総本部を立ち上げた本市にとってスケートボードパーク整備は、子どもたちのために進めていかなければならない。

いわき市、21世紀の森公園スケートボード広場整備事業は、今後、米子市独自のスケートボードパーク整備事業をしていく上で大変参考となる行政視察となった。

都 市 経 済 委 員 会 行 政 視 察 日 程

◎ 視察先及び調査事項

- (1) 宮城県石巻市 かわまち交流拠点整備事業
 (2) 福島県いわき市 21世紀の森公園 スケートボード広場

◎ 視察者 1.0名 (委員：岩崎委員長、大下副委員長、門脇、国頭、戸田、中田、西野、又野、矢田員) (随員：森井)

月 日	行 程	備 考
11/8 (火)	9:15[FDA702]10:40 11:08 11:33 12:16 13:14 出雲空港.....仙台空港.....仙台駅.....石巻駅 仙台空港アクセス線 JR仙東北ライン快速 ◎石巻市行政視察(午後2時から1時間30分程度) Ⅷ0225-95-5080(議会議事務局) [調査内容] *かわまち交流拠点整備事業(現地：石巻市かわまち交流センターかわわべい) 15:58 16:54 石巻駅.....仙台駅 JR仙東北ライン快速 (仙台駅周辺泊)	屋食：仙台駅周辺 石巻駅からタクシーで5分 (担当) 太田様
11/9 (水)	ホテルロビー9:45集合出発 10:14 12:16 仙台駅.....いわき駅 JR特急ひたち14号 ◎いわき市行政視察(午後1時30分から2時間程度) Ⅷ0246-22-7535(議会議事務局) [調査内容] * (現地：21世紀の森公園 スケートボード広場) (市役所はいわき駅から徒歩14分、現地はいわき駅から車で17分程度) 15:45 17:36(乗換) 17:50 18:25 いわき駅.....郡山駅.....仙台駅 JR磐越東線 JR新幹線やまびこ69号 (仙台駅周辺泊)	屋食：いわき駅周辺 いわき市議会議長の送迎あり (担当) 松崎様
11/10 (木)	ホテルロビー9:00集合出発 9:30 11:15[FDA703]13:10 仙台駅.....仙台空港.....出雲空港 仙台空港アクセス線	

※集合時間：11月8日(火) 8時30分(出雲空港2階ロビー) 米子市役所～出雲空港間は山陰道經由(有料)で1時間程度

旅費計算表

宮城県石巻市・福島県いわき市

都市経済委員会行政視察

令和4年11月8日～令和4年11月10日(2泊3日)

月日	区	間	鉄道路線名	運賃	備考	急行料	料金		宿泊		料
							別新幹線	議員1,500円 随員1,100円	甲14,800円 乙13,300円	甲14,800円 乙13,300円	
11/8 (火)	出雲空 仙台空	港～仙台空 港～石巻台	飛行機 私鉄、JR	13,100 1,410					1,500 1,100		13,300 9,800
11/9 (水)	仙台 いわき～仙台	きわき台	JR JR	2,640 3,740		2,240			1,500 1,100		13,300 9,800
11/10 (木)	仙台空 仙台空	～仙台空 ～出雲空	私鉄 飛行機	660 13,100					1,500 1,100		
計	随員	旅行費		35,510		2,240	2,970		4,500		26,600
	随員	旅行費		35,510		2,240	2,970		3,300		19,600

出席議員：岩崎委員長、大下副委員長、門脇委員長、国頭委員、戸田委員、中田委員、西野委員、又野委員、又田委員、森井
随行者：森井

議員 71,820 × 9名 = 646,380
随員 63,620 × 1名 = 63,620
合計 710,000